12月度生涯研

マクロライド系抗菌薬を解説

細菌付着抑制などの薬理効果

協会の歯科臨床・学術学会部は「歯周病薬物療法の実際～バイオフィルムを知り、新しい治療法を～」と題して生涯研修講座を12月9日、M&Dホールで開き、歯科医師ら120人が参加した。講師は、王宝禮氏（松本歯科大学歯科薬理学講座・大学院口腔内科学教授）。

内科的な投薬による治療の展望を話す王氏＝12月9日、M&Dホール

王氏は多数の協会の講演の講師や、9月の保団連主催の「第2回歯科混合診療を考えるシンポジウム」のシンポジストを務めておられる。その背景に、「国民皆保険制度は国の宝で、現行の『混合診療』の拡大は、国民皆保険の理念を失い、医療の崩壊を誘うものだ」とする王氏の考えに、会員の多くが共感しているからであろう。

講演では、バイオフィルムの概念、バイオフィルムのう蝕・歯周病に及ぼす病因性、口腔内科学的考えの歯周治療への全身的な薬物療法、マクロライド系抗菌薬の特徴などをEBMに基づいて平易に解説された。堅固な城砦のようなバイオフィルムには一般の「魔法の弾丸」は効果がないが、薬剤耐性や副作用の出現はあるもののマクロライド系抗菌薬の安全性・有用性が指摘された。マクロライド系抗菌薬のうち、特に商品名アジスロマイシン・ケテックは、広範囲の口腔細菌に対して強力な抗菌作用、マクロファージなどの食細胞内に取り込まれて、炎症組織において長時間にわたって放出されること、さらに緑膿菌の抗菌作用はないが、そのバイオフィルム形成抑制、細菌付着抑制などの薬理効果があることなどが挙げられた。一方、歯周治療の第一選択は薬でないことが強調された。それは、歯周治療の成功の鍵は、患者と共同して行われる歯周基本治療であり、治療の第一選択は薬物投与ではないからである。

臨床の現場では、さまざまな要因で、医科と比べて歯科では検査や薬物療法が広く認められていない。近未来に必要な検査（遺伝子診断、生化学的・細菌学的検査）が導入され、歯周病の発症と病態が分子レベルで解明されていくなかで、内科的な投薬によって治療、予防が期待できると展望が語られた。そのために臨床医が、歯周治療のあり方について、大学教育への要望、関連学会への要請が大事であると激励された。（堺市・山上紘志）

医療崩壊ストップもとめ

診療報酬・自主共済で緊急要請

診療報酬改定枠の決定を間近にした12月13日、協会・保団連は医療・歯科医療の崩壊をストップするには、過去3回のマイナス改定分を補填する7・25%の引き上げが必要なこと、わずかしか算定されていない歯科疾患総合指導料を柱とする安上がりの長期管理体系をやめること、自主共済の新保険業法からの適用除外・経過措置期間の延長などを求め、内閣府・厚労省・財務省・国会議員らに要請した。大阪歯科から、古田光行・宮本辰雄両監事ら5人が参加した。

大阪歯科の要請団は、地元選出の国会議員、とりわけ与党議員を中心に要請。自民13人、公明4人、民主1人、共産2人の議員室を訪問した。

古田監事は、「低すぎる診療報酬のため、若い先生やスタッフ、技工士は将来の歯科界に何の希望も持てない」、宮本監事は「レセプトのオンライン化は断固反対、私のように対応できない医療機関は閉めなければならない」と歯科現場の実状を訴えた。

面談した山下よしき議員（共産）は、「歯科の現状は私も聞いている。先進国の中で補綴まで給付しているのは日本だけ。不十分ではあるが、この点は評価できる。今日の先生方の話では、歯科の治療は観血処置がほとんどで、当然麻酔が必要になる。医科の場合は専門医がいるが、歯科の場合は歯科医師が麻酔も治療もしなければならない。老人は合併症を持っていることが多く、麻酔が命取りになることもある。歯科医師にはそういうリスクがあるのに、診療報酬できちんと評価すべきである」と強調した。

また同氏は、「後期高齢者制度は現状に輪をかけた差別制度であり、この制度を国民はまだ知らない人が多く、この酷い制度内容を知れば国民大運動に発展する。それにあわせて歯科独自の運動も展開してほしい。国民に運動が広がれば参院選と同様に総選挙でも与野党逆転が起きる。参院選後、被災者生活再建支援法が改正されたように、総選挙でも大きな変化が起きることを期待している。保険医協会と共に要求実現のために頑張りたい」と今後の展望について述べた。

山下参議院議員（中央）に要請する古田監事（右）と宮本監事（左）＝12月13日、参議院会館内

梅村聡議員（民主）の秘書は、「歯科分野は、経済成長が上向きだった時代から抑えられてきた。歯科の窮状は承知している。改善を求めていきたい」と回答したのをはじめ、多くの議員秘書がおおむね前向きな対応だった。

石井郁子衆議院議員（共産）を紹介議員にして、患者署名286筆を提出した。

（今回の要請先）
衆議院：大塚高司議員、岡下信子議員、川条志嘉議員、谷畑孝議員、中馬弘毅議員、中山太郎議員、中山泰秀議員、原田憲治議員、松浪健太議員、柳本卓治議員、矢野隆司議員、（共に自民）、佐藤茂樹議員、田端正広議員（共に公明）、石井郁子議員（共産）の各秘書。
参議院：北川イッセイ議員、谷川秀善議員（共に自民）、白浜一良議員、山下栄一議員（共に公明）、梅村聡議員（民主）の各秘書、山下よしき議員（共産）本人。

第9回理事会

プラス改定に向け国会要請など確認

第9回理事会を12月8日に開き、診療報酬引き上げを求める緊急要請書を福田首相はじめ与党幹部、大阪選出の与党国会議員、中医協委員らに出すことを決めた。12月13日に、「医療崩壊をくい止めるために診療報酬のプラス改定を」求めて、内閣府・厚労省・財務省・与党幹部・自民党本部・公明党本部に要請する。

診療報酬改定について、中医協総会が「マイナス改定を行う状況にはない」とする厚労大臣への意見書をまとめたり、自民党の社会保障制度調査会の医療委員会と厚生労働部会がプラス改定を求めるなど、今までにない変化が起こっていることを、理事会では、患者署名や院長署名をもとにした粘り強い要請行動が中医協や与党国会議員らを動かし、「歯科医療崩壊」を止める動きになったと評価した。

しかし、社会保障費を2200億円削減する予算編成の基本方針は生きており、財務省からは診療報酬抑制の強い圧力があることから、緊急の団体署名や要請行動に取り組むことにした。改定の動きは協会機関紙やホームページで報じている。

◆「診療報酬引き上げ　患者負担軽減」を求める署名（会員用）
◆「保険でよい歯科医療の実現」を求める署名（患者用）

ご協力ありがとうございました

※右記署名は年内で締め切ります。お手元にありましたら、協会までお寄せ下さい。

が、年末から年明けにかけて地区組織が開く会員勉強会を通じて情報を伝えることにしている。

地方議会には「保険でよい歯科医療の実現をもとめる意見書」、「後期高齢者医療保険制度の中止・撤回をもとめる意見書」の採択を引き続き働き掛ける。後期高齢者医療制度の中止・撤回をもとめる取り組みでは、年明けの通常国会に向けて請願署名に取り組むことを決めた。

地方自治体に向けては、新しく大阪市長になった平松邦夫氏が選挙を通じてこども医療費助成を義務教育終了まで引き上げることや、国保減免制度の拡充を約束しており、公約の実現を求めて働き掛けることにした。

大阪府知事選挙をめぐっては「政治と金」問題などから太田房江知事が不出馬を表明、立候補を表明している「明るい会」の梅田章二氏の「無駄遣いも不正もなくし、福祉都市大阪をつくる」とするマニフェストや府政の争点を協会機関紙などで取り上げていく。

新型長期無担保融資Ⅰ

ビジネスローン取扱中！

貴協会会員さま向け　特別優遇　所定金利より　年-0.3%

最大8,000万円までご融資

スピード回答

大阪府中小企業信用保証協会の保証を受けていただきます

商品概要　●商品名／新型長期無担保融資Ⅰ　●ご利用いただける方（※1）・ご融資限度額／【青色申告書で確定申告されている個人事業主のみなさまで直近で「貸借対照表」・「損益計算書」を添付して申告の方（ただし、青色申告特別控除額65万円の方）のご融資限度額は8,000万円以内（ただし直近申告における平均月商3ヵ月分まで（設備資金除く））】、【青色申告書で確定申告されている個人事業主のみなさまで直近で「損益計算書」のみを添付して申告の方のご融資限度額は3,000万円以内（ただし直近申告における平均月商3ヵ月分まで（設備資金除く））】、【白色申告書で確定申告されている個人事業主のみなさまで直近で「収支内訳表」を添付して申告の方のご融資限度額は1,250万円以内（ただし直近申告における平均月商3ヵ月分まで（設備資金除く））】●お使いみち／事業性資金にご利用できます●ご融資期間／原則1年超7年以内●ご融資利率／当社所定の金利（審査結果に応じて金利を決定させていただきます）●ご返済方法／毎月均等分割返済（6ヵ月以内の据置可）●担保／必要ありません●連帯保証人／必要ありません●保証／大阪府中小企業信用保証協会の保証が必要です●保証料／大阪府中小企業信用保証協会所定（※1）直近2期以上の確定申告が必要です。●上記内容については、個人事業主のお客さま向けの商品概要です。●会員さま向け特別優遇につきましては貴協会事務局にお問合せください。【ご留意事項】●お取引きのないお客さまについては回答に相当の日数がかかります。
●審査の結果ご希望に添えない場合がございます。

お問合せは、近畿大阪銀行中小企業サポートセンターへ　0120-028-273
受付時間 平日／9:00～19:00　土／10:00～17:00　※日、祝日、12月31日～1月3日はご利用いただけません
ホームページアドレス http://www.kinkiosakabank.co.jp/

RESONA
りそなグループ

新しいクオリティへ、新しいスピードで。『りそな』
近畿大阪銀行